

保土ヶ谷区自立支援協議会 区精神 net 議事録	
日 時	R4 年 7 月 12 日 (火) 16:00~17:30
開催場所	地域活動支援センター ゆめ 2 階 会議室 & 各自リモート参加
出席者	医療機関 3 名、家族 1 名、地域ケアプラザ 1 名、日中事業所 1 名、グループホーム 2 名、当事者 1 名、就労系事業所 3 名、区役所 2 名、生活支援センター 1 名
開催形態	公開 (傍聴人: 名) 非公開
議題	<p>内容 次回から参加者の確認をしていく。</p> <p>1. 全体交流会 グループワークに分かれて、話を共有した。</p> <p>共有: グループ 1 映画「不安の正体」という映画についての紹介。</p> <p>グループ 2 グループホームの入居者の方が高齢化して身体的な病気や ADL の低下、地域移行に向けての支援がしづらい状況、ゆるやかに高齢の施設への移行、退院の支援、つなががないところの現状。限られた制度、資源の中でサポートをしている人たちがもっとサポートされていいのではという意見が上がった。 →高齢化の問題は保土ヶ谷ならではのものは？介護保険との差、制度の部分の厳しさを感じる。ケアプラザとの連携を検討していきたい。</p> <p>グループ 3 今年度、区精神ネットに参加。勉強になることが多いのでこれからは期待したい。 家族の立場として、横の支援者がつながる時代になったと思う。</p> <p>グループ 4 (zoom) 就労移行支援事業所と病院と普段かわりがないので新鮮だった。 訪問看護について、知らない事業所について聞いて良かった。 就労移行支援について聞いて良かった、グループホームがもっと地域にあってほしいと思う。 常盤台病院から、地域資源を患者に紹介するために、ビデオ撮影をした。</p>

2. 全体検討事項

- ・ ほどほど通信について

ほどほど通信を継続するか？メンバーがいない中で、どうしたらいいかをグループワークで検討。

むやみにやりましょうとは言えない。

サービス知らないため、作ってもらえたらありがたい。ただ、むやみに作れとは言えない。社会資源を知る手掛かりになる。

誰に見てほしいのか？見てもらいたい人に必要なサービスがつながるまでになるのか？病院にクリニックにおいておくだけでいいのか？本当に必要な人に情報が届くものなのか？わからない。

誰に向けてどこに置くかで変わる。

対象者がチラシに書いていない。誰に向けて、作ったのかわからない。

共有タイム：

グループ4 病院に目立つところに置いたが、チラシ自体減っていない。

グループ1 やっていきのほうがいいと思う。どのように、何のテーマをグループワークで1つの議題で考えたらという意見。

グループ2 医療と福祉を結びつけるためにチラシが必要となった。患者、医療者に向けての制度紹介だったのではないか？この内容では医療者に向けてのアプローチは低いのではないかと思う。結論をこの数分でのグループワークで決め切れなかった。

グループ3

誰に向けてどこに置くかで変わる。

対象者がチラシに書いていない。誰に向けて、作ったのかわからない。

ただ、むやみに作れとも言えないし、作らなくてもいいとも言えない。

→事務局でも話し合っていく。

3. 全体共有事項

- ・ ほどほどの会

保土ヶ谷区の地域移行、地域定着支援について考える。

他都市で使っていたアセスメントシートをセンターの退院サポート事業、地域移行支援利用している患者に対して使用している。項目を少し変更、どのようにシートを記入していくのかのマニュアル作りを検討中。

病院にて、生活支援センターの動画を作成。西部エリアで資源を動画にしてい

	<p>くことを検討。病院のスタッフに向けての研修の 1 つとして、動画作成を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトリーチ事業 現時点で 8 事例。2 事例は一定程度目標達成のため、終了方向。 アウトリーチ対象者の方のみの支援だけではなく、チーム外のいろいろな支援者のヒントを得られたらと思う。実際の事例を共有、助言を持てる機会を持ちたい。 <p>4. その他・情報共有 浜家連ニュースの共有。</p>
次回	R4 年 8 月 9 日（火） 16：00-17:30 場所：未定